

ハギレの日本文化誌、
時空をつなぐ布の力。



鹿児島大学総合研究博物館 第14回公開講座

端縫い

境界を接ぐ

2014.6.7 SAT 13:30~15:00 参加無料

端縫い — 境界を接ぐ —

衣服は、人間の体を保護するだけでなく、外部との接点であり、境界でもあります。少し前まで、日本人の暮らしの中には、小裂を継いだり、接ぎ合わせた衣服や袋物などがしばしば見られました。

布が貴重だったということもありますが、この行為には単なる貧しさだけではない、日本人の世界観がうかがえます。

「パッチワーク」ではなく、ちょっと懐かしい「端縫い」の実物に触れながら、日本文化における布の存在と心意について改めて考えてみたいと思います。



■ 講師：佐治ゆかり (郡山市立美術館館長)

■ と き：2014年6月7日(土) 開場 13:00 講演 13:30~15:00

■ ところ：レトロフト Museo (鹿児島市名山町 2-1 レトロフト千歳ビル 2F)

■ 参加無料 ※定員先着 35 名様、事前の申し込みが必要です

お問い合わせ

鹿児島大学総合研究博物館 (担当 / 落合)

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp>

TEL 099-285-8141 (月~金 10:00~16:00)

申し込み方法

①お名前、②人数、③電話番号、④メールアドレスをお知らせください。

E-mail info@kaum.kagoshima-u.ac.jp

FAX 099-285-7267

※人数が 35 名を越えてご参加いただけない場合には折り返し連絡します

※個人情報は本イベント開催のために利用し、その目的以外での利用はしません

